

共創学部「活動歴報告書」添付資料に関する注意事項

「活動歴報告書」の③で記載した活動の成果物、表彰、資格、検定などに関する資料を添付する際、下記の注意事項をよく読み、その指示に従ってください。

- (1) 各資料の右上に氏名と「活動歴報告書」の③の「項目」欄に記入した番号を必ず記載してください。
- (2) 資料は全体を通して 30 ページ以内（**全て A4 判片面印刷**）で用意してください。
- (3) 資料は番号順に並べて、右下に資料全体を通してのページ番号を記載し、まとめてダブルクリップで留めたいえ提出してください。（例：1つ目が5ページ、2つ目が4ページ、3つ目が5ページの資料を提出する場合には、最初のページから通しで1～14のページ番号が振られることになります。）
- (4) **資料は返却しません**。賞状や証明書、資格認定書、ノートなど、今後も必要なものを資料とする場合は、現物ではなく必ずコピーを提出してください。
- (5) 資料を準備する際には、次の点に留意してください。
 - 資料は、必ず A4 版 で作成し、片面印刷 としてください。（縦向き・横向きの資料が混在しても構いません。この場合には、横向き資料の上部が左側になるように縦置きにし、右上に氏名・項目番号、右下にページ番号を記載してください。）
 - 資料（特にパワーポイント等のプレゼンテーション用資料など）は、文字が読める大きさであれば、2 in1 や 4 in1 で印刷しても構いません。
 - 資料毎にクリップ留めやホッチキス留めはしないでください。また、インデックス等を付けることもしないでください。
 - 資料に付箋を貼り付けしないでください。
 - 本や雑誌などに記載された自分の文章や記事を資料とする場合には、表紙、目次、奥付など、記載された箇所と出典（書名、著者名、発行年月日、発行所など）がわかる部分と自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。
 - あなたを含む複数の人間による共同研究や団体活動の成果などを資料として添付する場合、あなたの担当箇所、役割・分担がわかるような説明を添えて、提出してください。
 - A4 判でコピーできない作品などを資料とする場合は、作品の実物ではなく写真と文書による説明（内容、作成年月日など）をつけて提出してください。写真は A4 判の白紙に張り付けてください。
 - プレゼンテーションやパフォーマンスなどを資料とする場合、当日の写真やプログラム、新聞記事、主催者や学校の先生が作成した証明書など、裏付けとなる資料とともに、プレゼンテーションやパフォーマンスの内容と行った年月日を記した文書を提出してください。

(6) 第2次選抜の面接では、資料について質問する場合があります。必ず、資料をコピーし、面接の当日に持参してください。

「活動歴報告書」に添付する資料の例としては、次のようなものが考えられます。ただし、これらに限定するものではありません。

- ・ 各教科で執筆したレポート、論文など
- ・ 総合的な学習の時間、課題研究、SSH・SGHなどで探究・研究した成果をまとめたレポート、ポスター、論文、パワーポイント（印刷したもの）など
- ・ 読書を踏まえた小論文、書評など
- ・ 自分が作成した作品（写真、映画、舞台演劇、芸術作品など）やそれに関する解説
- ・ 自分が執筆した小説、シナリオ、エッセイなど
- ・ 課外活動、学校行事・生徒会での活動、ボランティア活動、文化・芸術・スポーツ活動、留学・国際交流などで取り組んだ活動に関する記録（ノートなど）、あなたの活動について関係者から寄せられたメッセージなど
- ・ 雑誌や新聞に記載された記事など
- ・ 各教科にかかわる大会、コンテスト、コンクール、国際科学オリンピックなどの成績を証明するもの（表彰状のコピーなど）
例：教育委員会賞、総合文化祭優秀賞、高校生論文コンテスト、英語スピーチコンテスト、高校生ディベート大会、模擬国連、国際科学オリンピック、科学の甲子園、日本学生科学賞、高校生科学技術チャレンジ、ビジネスアイデアコンテスト、高校生映画コンクール、全国高等学校小倉百人一首かるた選手権、全国高等学校クイズ選手権など
- ・ 英検、TOEFL、TOEIC、そのほかの外国語の検定、能力試験
- ・ 各種の技能や知識などの検定や資格、段位
- ・ 国際バカロレア（資格証書、最終試験成績証明書）

※上記の指示に従っていない資料を提出した場合には、当該資料を審査対象としない場合がありますので、注意してください。

※提出後の資料等に関する問い合わせには一切応じません。この注意事項をよく読んで提出してください。